

平成30年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2236

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B21	次世代型県内系無線機の更新整備		一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	一般活動費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	警察法		宣言項目			
					分野施策	020410 防犯対策の推進と捜査活動の強化		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>整備から14年を経過し、老朽化した現行の県内系無線機を、警察庁の計画にあわせて、更新整備する。 さらに次世代型の無線端末の導入に伴い、現在の通信指令システムと連携させ、更なる初動活動の強化を図る。</p> <p>(1) 次世代型県内系無線機の更新整備 814,354千円 (2) 次世代型県内系通信システムの整備 53,999千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 次世代型県内系無線機の更新整備 814,354千円 無線機器の購入及び設置費用</p> <p>イ 次世代型県内系通信システムの整備 53,999千円 次世代型無線端末通信費、システム連携サーバ借上料</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 次世代型県内系無線機の更新整備 平成30年度、警察庁では、整備から14年を経過し老朽化した県内系無線システムを更新することを計画している。国費整備分が更新予定であることから、国費分との相互通信の互換性を維持するため、県費整備分についても更新整備し、警察活動の維持を図る。</p> <p>イ 次世代型県内系通信システムの整備 次世代型無線端末の導入に伴い、現行の通信指令システムと連携させて運用することにより、初動警察活動の強化を図る。</p> <p>(3) 事業効果 老朽化した無線機を更新することにより、110番事案や各種事案に対して引き続き適切な対応を行うことができる。次世代型無線端末の導入により、時代に即した情報共有（グループトーク、動画像の送信）が可能となり、各種警察活動の更なる推進を図ることができる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	868,353	県債					707,353	868,353
前年額	0						0	